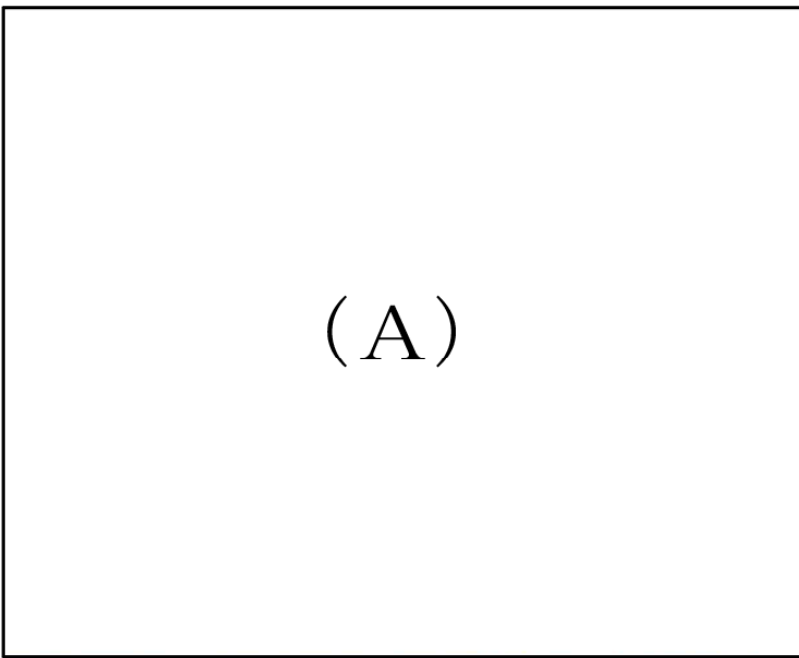




道新でワークシート

年 組 名前

煙を噴き上げて走るSL冬の湿原号。沿線には撮影するファンの姿も――25日午前11時10分、釧路市材木町（茂忠信撮影）



(A)

**黒光りの車体 雪原に映える
釧路でSL運行開始**

【釧路】JR北海道の臨時標茶間で今季の運行を始めた。列車は満席で出発。走る蒸気機関車（SL）を

撮影しようと沿線にもファンが多数駆けつけ、初日からにぎわった。

SL冬の湿原号は、1940年製のC11形蒸気機関車が客車5両（定員280人）をけん引する。道内で走行する唯一のSLで、2000年1月の運行開始から今年で20周年を迎えた。

この日は釧路駅で出発式を行った後、釧路湿原を目指して出発。晴れ渡った青空の下で勢いよく煙を噴き上げた。乗車した埼玉県入間市の会社員 A さん（26）は「ずっと楽しみにしていた。雪景色の中でタンチョウを見られたら最高」と話していた。

今季は3月1日までの土日祝日など計22日間、1日1往復運行する。運賃は釧路―標茶間で指定席料金を含め2130円。日によってはまだ空席があるという。（五十地隆造）

2020年1月24日（金） 朝刊 地方 空知版 14P（記事は再編集しています）

① (A) にあてはまる最も適切な写真を次の中から選びなさい。

ア



イ



ウ



エ



②記事からわかる、今年の「SL冬の湿原号」に乗れない日を次の選択肢から選びなさい。

(ア)1月26日(日) (イ)2月17日(月) (ウ)2月24日(月・祝) (エ)3月1日(日)